

東京大学科学研究行動規範委員会（以下、規範委員会という）は、本学大学院理学系研究科元教授による研究活動について、倫理指針違反と研究不正の疑いがあるとの申立てを受け、東京大学科学研究行動規範委員会規則（以下、規範規則という）第 10 条に基づき調査を行いました。

申立ての内容は、別紙に示す研究内容について、

- 1) データ提供に同意していない市民のデータの使用（倫理指針違反）
- 2) 福島県立医科大学の倫理委員会への研究計画書提出前の研究発表（倫理指針違反）
- 3) 論文（別紙記載②, ③）発表後 1 年経過した時点で資料・情報が全て破棄されている（研究不正）

4) セミナー発表（別紙記載①）のスライドと論文のグラフの値に齟齬がある（研究不正）というものです。調査を行った結果は以下の通りです。

なお、調査では、規範規則及び文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成 26 年 8 月 26 日文部科学大臣決定）に定める不正行為の定義を踏まえつつ、不正行為の有無を判断しました。

別紙記載①のセミナーに用いられたスライドと別紙記載③の論文間の齟齬については、スライドの縦軸の数値が Individual Dose（個人線量率。単位： $\mu\text{Sv/h}$ ）を示すことを想定していたため、生データ（3 ヶ月毎の積算線量、単位： mSv ）を読み込んで得た数値に 0.455 倍（ $1/3$ （ヶ月） $/30.5$ （日） $/24$ （時間） $*1000$ （倍））されるべきところであったが、これが行われていないこと、さらに、別紙記載③の論文内の図 6 縦軸の数字はこの変換が行われていることを確認しました。

別紙記載③の論文内のデータ間の齟齬については、同論文図 7 縦軸の数値が Cumulative Dose（積算線量。単位： mSv ）であり、本来 2.2 倍（上記 0.455 倍の逆数）されるべきところ、対象研究者が同論文図 6 からの計算時に失念していたことによることを確認しました。

いずれも論文著者の精査不足に起因するものであり、軽率なものであったと考えますが、規範規則第 2 条に定める「故意」によるものとは認められず、また、「研究者としてわきまえるべき注意義務を著しく怠ったことによるもの」とまではいえないと判断しました。

データ破棄については、論文の元となる研究データが伊達市において保管されていることを前提に、解析後に研究データを破棄する旨を記載した研究計画を福島県立医科大学倫理委員会に予め提出し、承認を得ていたことから、対象研究者による研究データの破棄は不正行為に該当しないと判断しました。

なお、倫理指針違反については研究不正に関する調査を任務とする、規範委員会及び調査委員会の調査範囲外の事項であり、この点については判断しないこととしました。

対象研究者及び対象の研究活動

対象研究者	対象の研究活動
早野 龍五	<p>① セミナー発表：セッション「測って伝える」におけるスライド発表 （第十二回福島原発事故による長期影響地域の生活回復のためのダイアログセミナー「Experience we have gained together（これまでの歩み、そしてこれから）」）</p> <p>② 掲載雑誌名等：<i>Journal of Radiological Protection</i>, 37(2017), 1-12 論文タイトル：Individual external dose monitoring of all citizens of Date City by passive dosimeter 5 to 51 months after the Fukushima NPP accident (series): 1. Comparison of individual dose with ambient dose rate monitored by aircraft surveys</p> <p>③ 掲載雑誌名等：<i>Journal of Radiological Protection</i>, 37(2017), 623-634 論文タイトル：Individual external dose monitoring of all citizens of Date City by passive dosimeter 5 to 51 months after the Fukushima NPP accident (series): II. Prediction of lifetime additional effective dose and evaluating the effect of decontamination on individual dose</p>

※上記②の論文の「論文タイトル」については、掲載雑誌上の表記を記述する。